

医学部建物修繕依頼システム

小西 民恵¹ 高橋 亨輔² 六車 俊紀³ 谷崎 勇太³ 油谷 知岐³ 浅木森 浩樹^{3,4} 米谷 雄介^{2,3}
武田 啓之³ 井面 仁志² 八重樫 理人^{2,3}

1香川大学医学部管理課 2香川大学創造工学部 3香川大学情報化推進統合拠点DX推進研究センター 4株式会社リコー

1. システム導入前の状況

●職員

- ・修繕候補箇所を発見後、電話連絡により管理課や病院保守管理業者へ修繕を依頼する
- ・近年増加する極端豪雨による被害がある場合、すみやかに管理課へ報告しなければならない

●医学部担当者

- ・電話で修繕候補箇所を聞き取り、場所や状況をあらためて確認しなければならない
- ・聞き取りだけでは、破損状況をすみやかに把握しづらい状況にある

→ **修繕候補箇所の可視化と情報の一元化が必要**

2. システム概要

本システムは、令和5年から本学で運用開始されている落とし物管理システム「KadaMikke/カダミック」を派生元システムとして開発した。

- ① 修繕候補箇所を登録する（棟別に登録する）
- ② データが登録されると、施設・会計担当者へ登録内容が通知される
- ③ 施設・会計担当者は、対応状況（対応済・対応中）を入力する

→ **修繕候補箇所の可視化により、修繕箇所の特定を容易にさせ、電話対応の業務工数を削減**

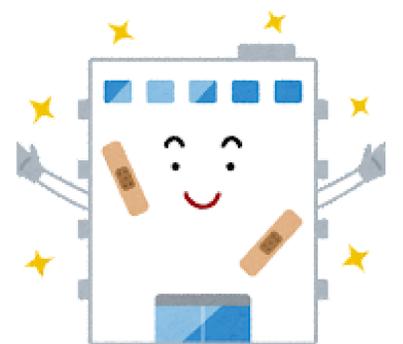


図 登録画面

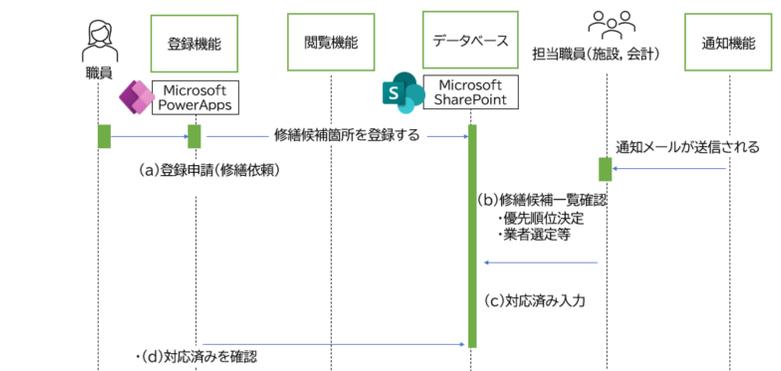


図 システム概要図

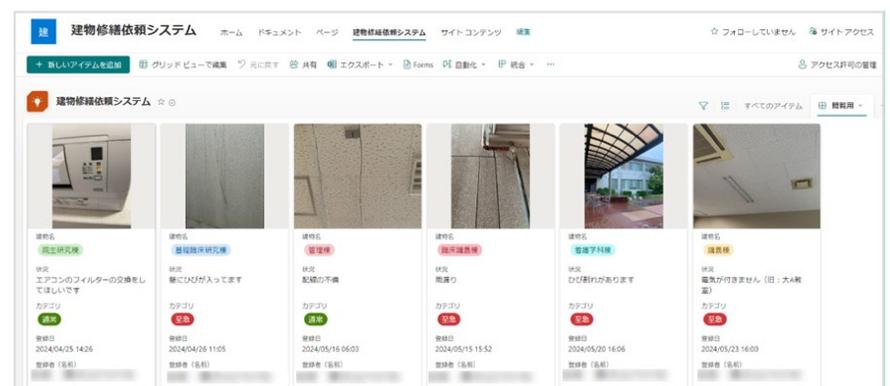


図 閲覧画面

3. 今後の展望

- ・本学で運用されている内製開発システムを元に派生開発をおこなうことによって、短期間で開発が可能となり、安定した運用をおこなうことができる
- ・平常時における建物の修繕依頼連絡に用いるとともに、防災訓練時においても試用し、発災時の被災情報の収集に活用することを検討している